

過した今でも同社の戦略マシーンとして活躍している。

昭和62年、現在の所在地岡山市七日市西町に新社屋完成。この年、情報処理機能を持ったプレスシステムである「コンポテックス」を導入した。印刷業で情報処理という言葉が耳新しいこの時期に、社運を賭けた大きな決断であった。

正孝氏はコンポテックスユーザーの全国組織である「情報システム研究会」に参加して精力的にデータベースの有力な使用事例を学び自らも実践していった。また「パラシート情報開発研究会」にも加入して印刷業におけるマーケティング展開を学んだ。両研究会における活動を通じて正孝氏は全国に印刷業の勝ち筋を真剣に考える仲間を増やしていく。よいアイディアを実行している仲間がいれば全国どこでも飛んでいった。正孝氏の真摯な姿勢に仲間は持っているものすべてを教えてくれた。「困っていたから必死で勉強した。必死な様子が相手に伝わったんだろう」

情報処理で差別化

こうして同社はデータ処理サービスを切り口として「企画から印刷までトータルサポートする印刷業」として地域社

セイキは、活版からオフセットへ移行していく時代に凸版印刷機を導入するという選択をした。「地方は加工まで持っていないと他社に太刀打ちできない。これから時代はKSBの生きる時代だ」

会において確実な信用を築いてきた。ホームページ(<http://www2.to/seiki/>)で同社の業務内容を見てみよう。

●業務方針

お客様が制作管理しているデータをそのまま情報処理し、入力ミス、打ち直し校正が省略され、従来の手作業による組版と比較にならないスピードアップが可能となる。コスト削減が可能となり、お客様の組版、図形データ、写真、イラスト等のデータを補完管理し、情報資産の有効活用ができる。

●企画デザイン

エリアマーケティング、データ分析によるセールスプロモーションおよびクリエイティブ

●情報サービス

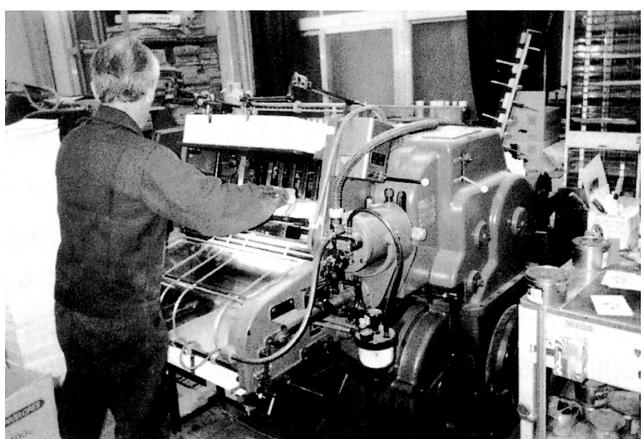
データ処理と加工、データ管理、DM文書入力処理、多機種によるワープロ入力センター

●トータルプリント

販売促進チラシ、DM、カタログ、情報誌、各種名簿、校内・社内新聞、自費出版、記念誌、一般事務印刷

●スーパープリント

少ロット大型ポスター、展示用パネル、屋内外大型看板、電飾看板、メニュー



貢献するデータ処理サービス業